

平成 25 年度

決算説明資料

平成 26 年 10 月 8 日

住宅都市局

# 目 次

	頁
1 大規模盛土造成地の調査について .....	1
(1) 調査目的 .....	1
(2) 平成23年度・平成24年度調査 .....	1
(3) 平成25年度調査 .....	1
2 大規模盛土造成地マップについて .....	2
3 リニモについて .....	3
(1) 乗車人員 .....	3
(2) 経営悪化の要因 .....	3
(3) 愛知高速交通株式会社の経営状況（平成25年度） .....	3
(4) 平成21年度～平成25年度における愛知高速交通株式会社の 経営改善の取組 .....	4
(5) 平成20年度～平成25年度の愛知高速交通株式会社への支援内訳 .....	4
(6) 平成20年度末、平成25年度末の愛知高速交通株式会社の 借入金内訳 .....	5
(7) 出資金の推移 .....	6
(8) 愛知高速交通株式会社に対する名古屋市の支出額 .....	6
4 あおなみ線への支援内容について .....	7
5 ガイドウェイバス旧型車両の走行距離について .....	8
(1) 走行距離 .....	8
(2) 走行距離が少ない車両が生じた主な理由 .....	8
6 鉄道を活用した都市魅力向上策検討調査について .....	9
(1) 調査概要 .....	9
(2) 主な検討結果 .....	9
ア SLの復元・走行に関する検討 .....	9
イ その他の検討 .....	10
ウ 有識者からの主な意見 .....	11
7 木造住宅密集地域における取組について .....	12
(1) 事業手法の比較 .....	12
(2) 木造住宅密集地域の状況 .....	12
ア 大曾根北、筒井、葵地区 .....	12
イ 米野、御劔地区 .....	12
8 水上交通の取組について .....	13
(1) 水上交通網推進プラットフォーム .....	13
ア 概要 .....	13
イ 検討内容 .....	13
(2) 中川運河と宮の渡しを巡る体験乗船 .....	14
ア 体験乗船の概要 .....	14
イ アンケートの概要 .....	14
ウ アンケートの結果 .....	14
エ ルート図 .....	15
(3) 七里の渡し体験乗船 .....	16

ア	体験乗船の概要	16
イ	アンケートの概要	16
ウ	アンケートの結果	16
エ	ルート図	17
9	地域まちづくりについて	18
10	ささしまライブ24地区について	19
(1)	進捗状況等	19
ア	ささしまライブ24土地区画整理事業	19
イ	椿町線街路事業	19
(2)	開発動向	19
(3)	位置図	20
11	椿町線の自転車経路について	21
(1)	自転車通行の考え方	21
(2)	平面図	21
12	名古屋駅周辺地下公共空間整備について	22
(1)	平面図	22
(2)	断面図（A-A間）	23
(3)	平成25年度決算額の内訳及び内容	23
13	金城ふ頭開発の推進について	24
(1)	事業費の内訳	24
(2)	位置図	24
14	守山スマートインターチェンジの整備について	25
(1)	進捗状況	25
(2)	計画図	25
(3)	主な経過	26
15	志段味地区特定土地区画整理事業について	27
16	名古屋高速道路について	28
(1)	六番町新幹線跨線部の新幹線騒音測定	28
ア	測定場所	28
イ	測定結果	28
(2)	モニタリングポストの測定結果	29
ア	二酸化窒素	29
イ	浮遊粒子状物質	30
ウ	騒音	31
(ア)	等価騒音レベル（ $L_{eq}$ ）	31
(イ)	中央値（ $L_{50}$ ）	32
(3)	コンクリート片落下事故対策	35
17	市営路外駐車場について	36
(1)	管理状況	36
(2)	収支状況	36
18	若宮大通駐車場について	37
(1)	管理状況	37
(2)	経営状況	37
19	横浜市及び神戸市の公営住宅の指定管理について	38
(1)	管理戸数、指定管理者及び業務委託の内容	38
(2)	指定管理者制度を導入したことによる利点及び欠点	38
20	市営住宅及び定住促進住宅使用料の収納率について	39
21	高齢者共同居事業について	40

(1) 応募資格等 .....	40
(2) 課題と対策 .....	40
22 シルバー住宅について .....	41
(1) 制度の概要 .....	41
(2) シルバー住宅の一覧 .....	41
23 市営住宅の収入区分別の入居世帯数の推移について .....	42
24 市営住宅における応募倍率の推移について .....	43
(1) 一般募集 .....	43
(2) 福祉向募集 .....	43
25 市営住宅の高齢世帯率上位団地について .....	44
26 市営住宅における孤立死の推移について .....	45
27 市営住宅における移動販売の届出実績について .....	46
28 エレベーターが設置できない既設市営中層住宅について .....	47
29 高齢者向け優良賃貸住宅について .....	48
(1) 制度の概要 .....	48
(2) 家賃、住戸専用面積等 .....	48
(3) 入居率 .....	49
30 民間木造住宅の無料耐震診断及び耐震改修助成について .....	50
31 耐震対策啓発事業について .....	51
(1) 実施内容 .....	51
(2) 耐震対策啓発経費の内訳 .....	52

# 1 大規模盛土造成地の調査について

## (1) 調査目的

大規模盛土造成地の滑動崩落に対する安全性の確認
-------------------------

## (2) 平成23年度・平成24年度調査

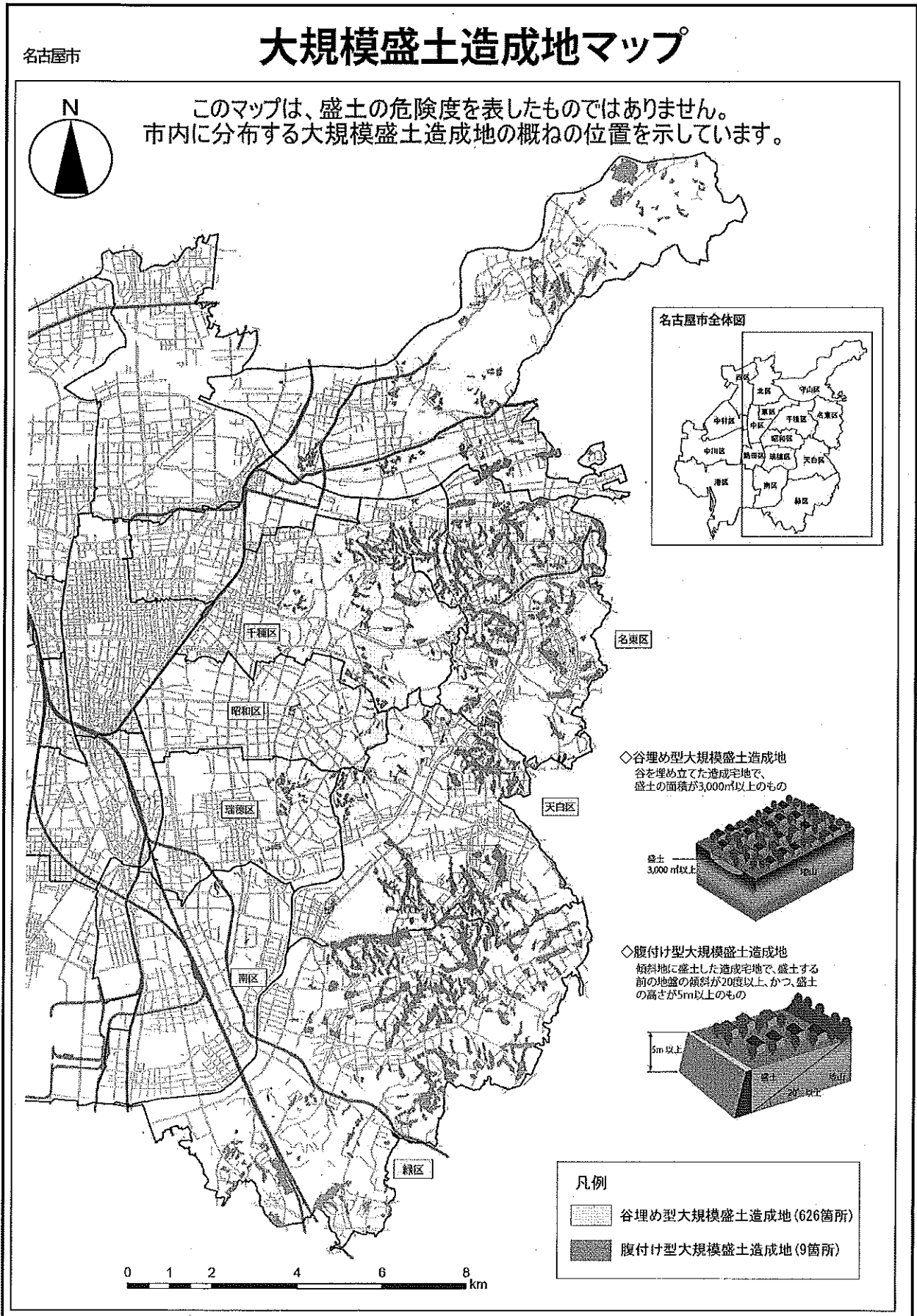
調査内容	新旧地形図の標高差から盛土造成地の大きさや深さ等を把握し、一定の条件に該当する大規模盛土造成地を抽出した。
調査結果	市内に分布する大規模盛土造成地の数 635箇所 (谷埋め型626箇所、腹付け型9箇所)

- (注) 1 「谷埋め型」とは、谷を埋め立てた造成宅地で、盛土の面積が3,000㎡以上のものをいう。
- 2 「腹付け型」とは、傾斜地に盛土した造成宅地で、盛土する前の地盤の傾斜が20度以上かつ盛土の高さが5m以上のものをいう。
- 3 調査の結果、抽出した635箇所の大規模盛土造成地を、平成25年8月に「大規模盛土造成地マップ」として公表

## (3) 平成25年度調査

調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・大規模盛土造成地の安全性を確認するための効率的な調査方法の検討に必要となる諸条件の整理</li><li>・過去に滑動崩落による被害を受けた都市へのヒアリング</li></ul>
調査結果	滑動崩落が起こりやすい要因として、盛土材、地下水位、造成年代、地盤の勾配が大きく関係していることが判明し、これらのうち、平成25年度は造成年代及び地盤の勾配について整理した。

## 2 大規模盛土造成地マップについて



### 3 リニモについて

#### (1) 乗車人員

区 分	需 要 予 測 (開 業 年)	平 成 2 4 年 度	平 成 2 5 年 度
	人/日	人/日	人/日
乗 車 人 員	31,600	19,066	19,816

#### (2) 経営悪化の要因

万国博覧会以降、当初需要予測に比べて、乗車人員が半数程度にとどまっていたことにより、収入が確保できない中で、建設時の多大な長期借入金の負担と、多額の減価償却費の負担が経営を圧迫してきたことによる。

#### (3) 愛知高速交通株式会社の経営状況（平成25年度）

項 目	金 額
	百万円
営 業 収 益	1,239
営 業 費 用 (内 減 価 償 却 費)	2,509 (1,409)
営 業 損 益 (減 価 償 却 前 営 業 損 益)	△1,270 (139)
営 業 外 損 益	△162
経 常 損 益	△1,432
法 人 税 等	△2
当 期 損 益	△1,434

(4) 平成21年度～平成25年度における愛知高速交通株式会社の経営改善の取組

事 項	主 な 内 容
お客様サービスの向上	1 安全・安定・安心輸送サービスの提供 2 利便性の向上 ア 多客時における臨時列車の運行 イ ダイヤの見直し 3 社員の教育
増客増収	1 運輸収入アップ ア リニモわくわく体験貸切列車の販売促進 イ 特徴を生かしたイベントの企画・列車の運行 2 付帯事業(広告)収入の安定化
経費削減	1 人件費の削減 ア 出向者・OB中心の組織から固有社員中心の組織体制への移行推進 イ 社員定数の削減 2 その他経費の削減 ア 設備保守点検の直営化
地域との連携	1 モリコロパーク・沿線店舗等との共同企画 2 大学シャトルバスの自主運行の促進

(5) 平成20年度～平成25年度の愛知高速交通株式会社への支援内訳

自治体名	現金出資	貸付金の株式化 (DES)	合計
	百万円	百万円	百万円
愛知県	2,857	3,989	6,846
名古屋市	854	1,191	2,045
他市	1,089	1,520	2,609
合計	4,800	6,700	11,500

- (注) 1 名古屋市は、平成22年度～平成25年度に支援を実施  
 2 他市は、長久手市、豊田市、日進市、瀬戸市



(6) 平成20年度末、平成25年度末の愛知高速交通株式会社の借入金内訳

借入先	金額	
	平成20年度末	平成25年度末
	百万円	百万円
愛知県	8,786	4,797
長久手市	2,762	1,511
名古屋市	2,620	1,429
豊田市	447	244
日進市	80	43
瀬戸市	62	33
日本政策投資銀行	9,000	6,100
その他金融機関	4,003	2,213
合計	27,760	16,370

備考 自治体からの現金出資を原資に、民間金融機関への返済を実施

(注) 1 平成20年度末の愛知県は、貸付金の株式化(D E S)実施前の金額

2 自治体の借入金額の減少は、貸付金の株式化(D E S)実施による。

## (7) 出資金の推移

出 資 者	建 設 時		平成 2 5 年度末	
	金 額	割 合	金 額	割 合
	百万円	%	百万円	%
愛 知 県	2, 1 9 8	3 0. 9	1, 1 3 3	4 8. 6
長 久 手 市	6 9 0	9. 7	3 5 6	1 5. 2
名 古 屋 市	6 5 7	9. 2	3 3 8	1 4. 5
豊 田 市	1 1 2	1. 6	5 8	2. 5
日 進 市	2 0	0. 3	1 0	0. 4
瀬 戸 市	1 6	0. 2	8	0. 3
民 間 2 8 社	3, 4 2 8	4 8. 1	4 2 9	1 8. 4
合計 (資本金等)	7, 1 2 0	1 0 0. 0	2, 3 3 2	1 0 0. 0

備考 端数処理により合計等が一致しない場合がある。

## (8) 愛知高速交通株式会社に対する名古屋市の支出額

項 目	金 額	出 資 総 額	平成 2 5 年度末 における出資金
	百万円	百万円	百万円
出 資 金 ( 建 設 時 )	6 5 7	2, 7 0 2	3 3 8
現 金 出 資 (平成 2 2 年度～平成 2 5 年度)	8 5 4		
貸 付 金 (建設時)	貸付金の株式化 (平成 2 2 年度)	1, 1 9 1	/
	平成 2 5 年度末残額	1, 4 2 9	
	2, 6 2 0		
合 計	4, 1 3 1		

備考 出資金の減少は、平成 2 0 年度～平成 2 5 年度の減資による。

#### 4 あおなみ線への支援内容について

自治体名	現金出資	貸付金の株式化 ( D E S )	民間借入金に 対する損失補償	計
	百万円	百万円	百万円	百万円
愛知県	336	3,982	—	4,318
名古屋市	1,664	26,658	12,289	40,611
合計	2,000	30,640	12,289	44,929

備考 損失補償の履行にあたっては、第三セクター等改革推進債を活用

## 5 ガイドウェイバス旧型車両の走行距離について

### (1) 走行距離

項 目	走 行 距 離
最大走行距離	943,270 km
最小走行距離	628,202
平均走行距離 (全車両25台の平均値)	777,236

### (2) 走行距離が少ない車両が生じた主な理由

- ・事故や故障による修理に長期間を要したため
- ・運転上、軽微な不具合のある車両は予備車両として運用されることが多かったため

## 6 鉄道を活用した都市魅力向上策検討調査について

### (1) 調査概要

蒸気機関車（SL）を始めとする話題性のある車両の運行やそれらを展示する施設など、鉄道を活用して名古屋の魅力を上させる施策に関して検討し、実現性などの課題を整理

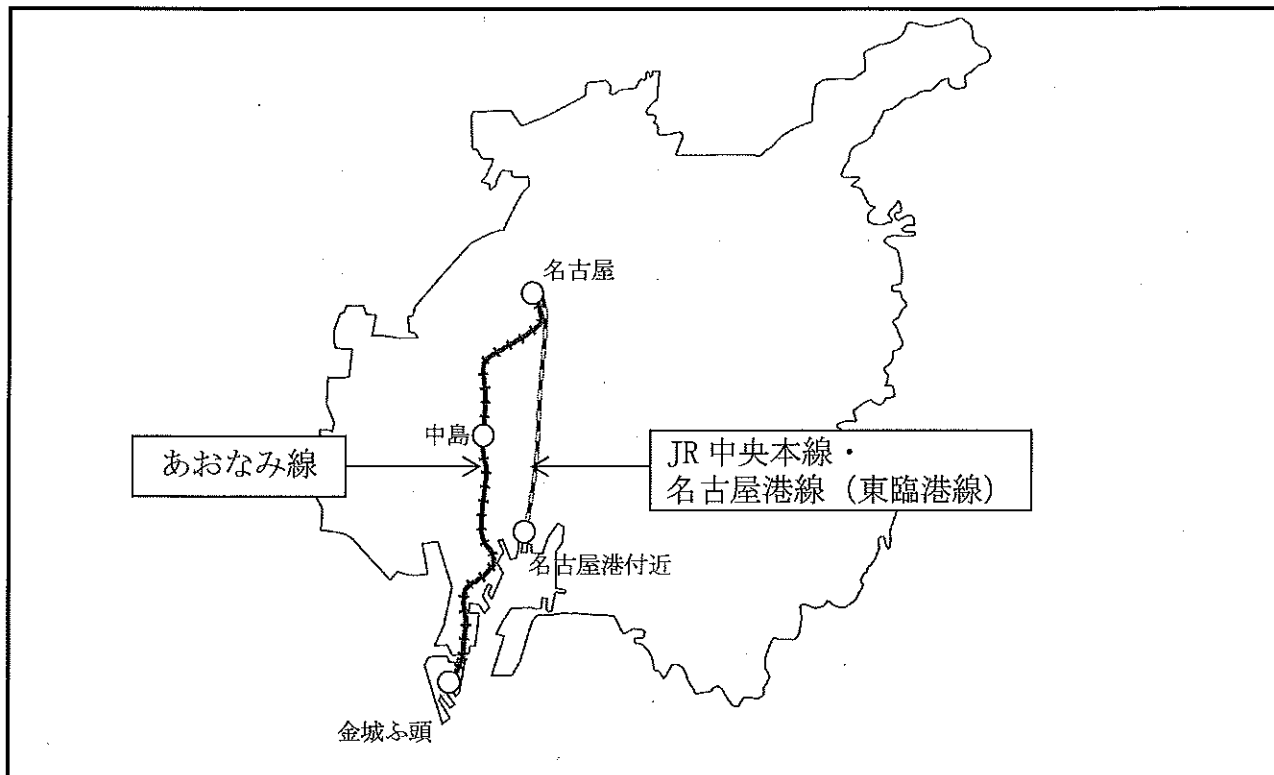
### (2) 主な検討結果

#### ア SLの復元・走行に関する検討

事 項		ケ ー ス 1	ケ ー ス 2	ケ ー ス 3
運行車両		C12 (車両修繕費を負担した うえで共同使用)	C56 (他事業者の運行車両を 借上げ)	D51 (車両を購入し、復元し たうえで使用)
運行区間		あおなみ線 (名古屋駅～金城ふ頭駅 15.2km)	あおなみ線 (名古屋駅～金城ふ頭駅 15.2km)	JR中央本線及び 名古屋港線 (名古屋駅～名古屋港付 近 8.7km)
運行期間		年2回、8日程度/回	年1回、2日程度/回	100日程度/年又は 365日程度/年
費 用	運行	約8,000万円/年 (車両整備費、機関士・ 整備士人件費、客車借 上げ費等)	約4,000万円/年 (車両整備費、機関士・ 整備士人件費、SL・ 客車借上げ費等)	約1.3～1.6億円/年 (車両整備費、機関士・整 備士雇用人件費等)
	初期 投資	約6.3億円 (車両修繕、検修設備軌 道改修車両運搬に係る 設備等)	約3億円 (軌道改修等)	約9.3億円 (車両復元、検修設備、 軌道改修、旅客施設等)

(注) ケース3の初期投資については、客車、ディーゼル機関車の取得費が別途必要

(参考) 運行区間の位置図



#### イ その他の検討

- ・ あおなみ線中島駅以南の高架区間について、D51 荷重による構造計算を行い、今回の調査では、列車荷重に対して安全性が確保されていない橋梁が複数存在することが判明した。
- ・ SL 以外の話題性のある車両として、外観・内装に特徴を持つ車両の全国事例を収集するとともに、あおなみ線における走行を想定して、車両調達の方法などについて検討した。
- ・ 鉄道展示施設の全国事例を収集するとともに、SL の保管・検修など必要な機能などについて検討した。

## ウ 有識者からの主な意見

### ○SLの走行意義

- ・名古屋はSLとの結びつきが弱い。
- ・名古屋に住んでもらうためには町に誇りを持ってもらうことが必要で、そのための演出としてSLを使う手段はある。
- ・SL走行を名古屋の都市魅力向上のためのリーディングプロジェクトとして位置づけてはどうか。

### ○SLに対する関心

- ・SLは見た目にインパクトがある。
- ・若者、外国人の関心が薄く、訴求力が期待できない。
- ・年間を通じた維持管理は大変であるし、飽きられないように運行し続けるのは厳しい。

### ○その他意見

- ・名古屋にもいい観光資源があるが、それらを回遊して楽しめるような仕掛けができないか。
- ・ものづくりの名古屋をコンセプトに据えてはどうか。
- ・SLは全国で走っていて、名古屋市の魅力づくりを考えるときに、SLというキーワードだけでなく、「撮る」「乗る」などの付加価値が作れないか。

## 7 木造住宅密集地域における取組について

### (1) 事業手法の比較

事業手法	目的	移転等に要する費用	内訳
土地区画整理事業	都市計画道路・公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整えて、宅地の利用の増進を図るもの	千円/戸 16,688	・建物補償 ・工作物補償 ・動産移転補償 ・仮住居補償 等
住宅市街地総合整備事業	密集住宅市街地において、老朽住宅等の建替えとコミュニティ住宅及び地区公共施設等の整備を促進し、住環境の改善や防災性の向上等を図るもの	千円/戸 6,940	・老朽建築物の買収費 ・除却工事費 ・動産移転料 等
生活こみち整備促進事業	建築基準法に基づき建築物等を後退させることで生じる後退用地を「生活こみち」として活用を促進することで、住環境や防災性の向上を目指すもの	千円/件 384	・整備助成金 ・通路使用奨励金 ・分筆測量及び分筆登記助成金 等

- (注) 1 土地区画整理事業及び住宅市街地総合整備事業の移転等に要する費用は、大曾根北、筒井、葵地区の3地区における平均値  
2 生活こみち整備促進事業の移転等に要する費用は、これまでの助成実績の平均値

### (2) 木造住宅密集地域の状況

#### ア 大曾根北、筒井、葵地区

地区名	面積	住宅密度
	h a	戸/h a
大曾根北	29.9	70.5
筒井	16.1	68.0
葵	6.3	82.1

備考 住宅密度は、住宅市街地総合整備事業の整備計画に基づくもの

#### イ 米野、御劔地区

地区名	面積	住宅密度
	h a	棟/h a
米野	34.4	40.5
御劔	52.5	43.9

備考 住宅密度は、平成22年度における数値



## 8 水上交通の取組について

### (1) 水上交通網推進プラットフォーム

#### ア 概要

構 成 員	学識者、旅行業者、地域情報メディア、旅客船協会、市民団体、経済団体、行政（中部地方整備局、中部運輸局、桑名市、名古屋港管理組合、名古屋観光コンベンションビューロー、名古屋市）等
設 置 目 的	中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、歴史資産や拠点を巡る新たな水上交通網の実現を目指すとともに、旧東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、観光舟運に関する民産学官の情報共有と連携強化を図る。
平成25年度の開催実績	平成25年7月から平成26年3月にかけて、計3回開催

#### イ 検討内容

事 項	主 な 内 容
現 状 の 整 理	・中川運河・堀川・名古屋港周辺の開発動向
課 題 の 整 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な船の導入</li> <li>・既設乗船場の充実や新たな乗船場の整備</li> <li>・乗船場への交通アクセスの向上</li> <li>・船内ガイドの充実</li> <li>・情報発信の強化</li> <li>・将来的な松重閘門の再生</li> </ul>
体験乗船の企画と結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川運河と宮の渡しを巡る体験乗船・七里の渡し体験乗船の企画</li> <li>・アンケート調査による結果の分析</li> </ul>
他都市事例の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査都市 大阪市</li> <li>・調査内容 水上交通の運航形態、活性化に向けた推進体制、情報提供の方法</li> </ul>
現 地 視 察	・名古屋港の船上視察

(2) 中川運河と宮の渡しを巡る体験乗船

ア 体験乗船の概要

目的	市民をはじめ多くの人々に、名古屋の水上交通の魅力を伝える乗船機会を提供することにより、新たな水上交通網の実現に向けた機運醸成を図る。
日時	平成25年10月20日(日) 9:00~16:50
ルート	堀川・宮の渡し⇄中川運河・堀止(片道4便、所要時間約90分)
料金	無料
参加人数	130名(応募倍率約1.8倍)
天候	雨

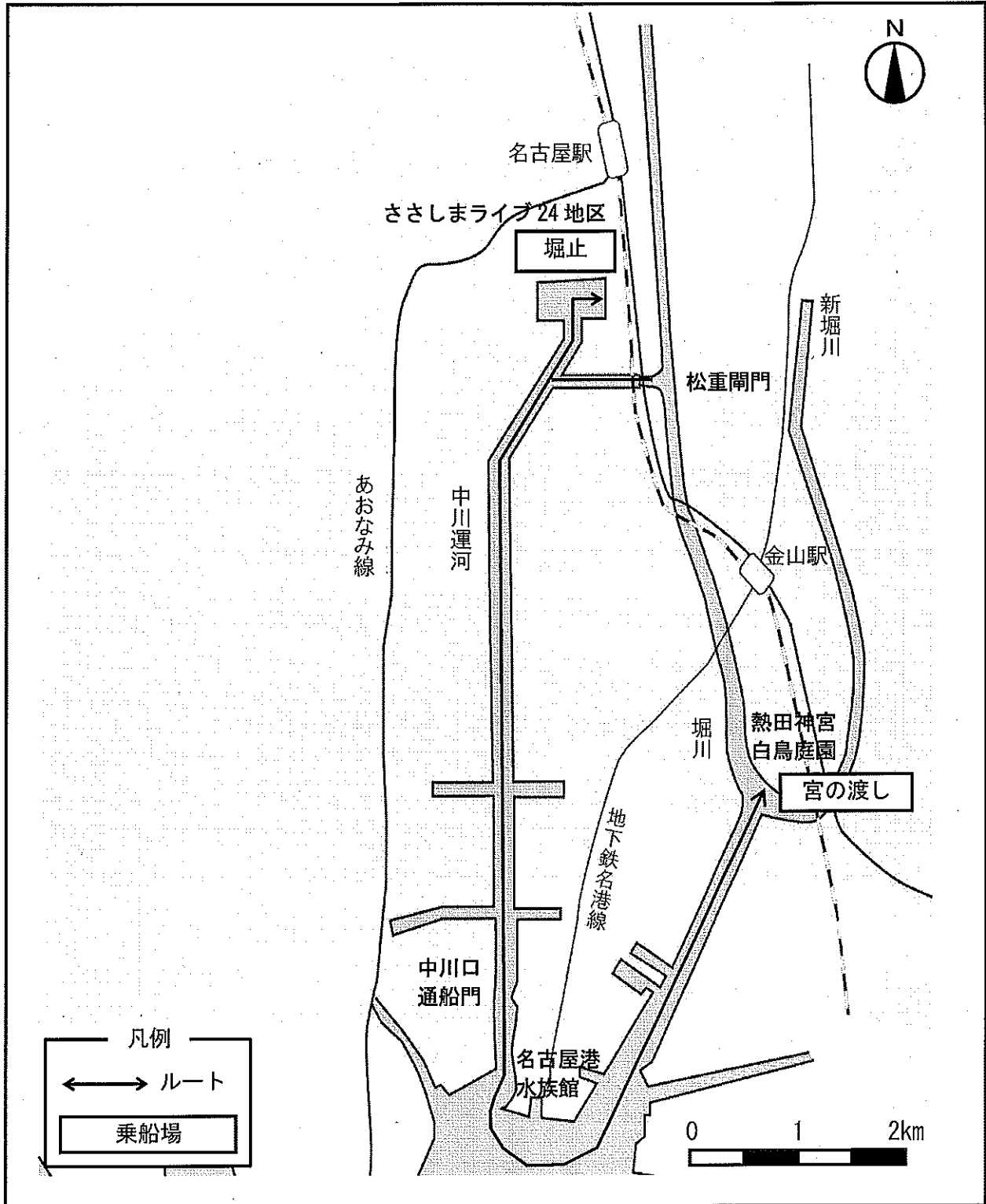
イ アンケートの概要

回収率	58%	
回答者の属性	男女比	男性 31%、女性 69%
	年齢層	20歳未満 9%、20~39歳 24%、40~59歳 41%、60歳以上 26%
	在住地	名古屋市在住者 83%

ウ アンケートの結果

項目	主な回答	割合
体験乗船の満足度	満足	37%
	やや満足	30
	普通	27
	あまり満足ではない	6
	満足ではない	0
船に求めること (複数回答)	オープンデッキやサンルーフなど眺望のよさ	55
	座席の広さなど船内での居住快適性	41
	船内での飲食販売	13
中川運河の水上交通で重要なもの (複数回答)	きれいな水	60
	乗船場への交通アクセス	54
	中川口通船門の通航体験	43

エ ルート図



(3) 七里の渡し体験乗船

ア 体験乗船の概要

目 的	旧東海道唯一の海路である七里の渡しにおいて、市民をはじめ多くの人々に、乗船を楽しみながら歴史や文化を学ぶ機会を提供することにより、七里の渡しの復活に向けた機運醸成を図る。
日 時	平成25年11月23日(土・祝) 10:00~15:40
ル ー ト	桑名・住吉⇄堀川・宮の渡し(片道2便、所要時間2時間40分)
料 金	1,900円
参 加 人 数	73名(応募倍率約2.6倍)
天 候	快晴

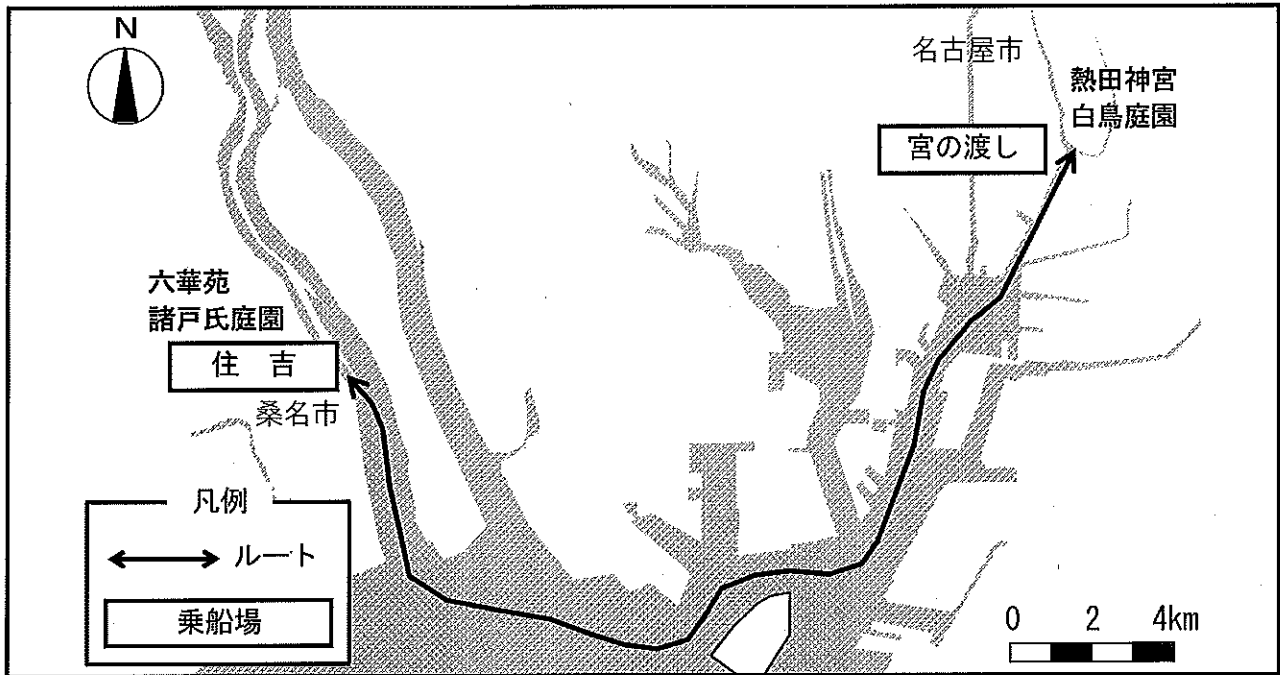
イ アンケートの概要

回 収 率	75%	
回 答 者 の 属 性	男 女 比	男性 38%、女性 62%
	年 齢 層	20歳未満 2%、20~39歳 12%、40~59歳 29%、60歳以上 57%
	在 住 地	名古屋市在住者 42%、桑名市在住者 26%

ウ アンケートの結果

項 目	主 な 回 答	割 合
体 験 乗 船 の 満 足 度		%
	満足	80
	やや満足	9
	普通	9
	あまり満足ではない	0
船に求めること (複数回答)	満足ではない	2
	座席の広さなど船内での居住快適性	100
	オープンデッキやサンルーフなど眺望のよさ	97
七里の渡しで 重要なもの (複数回答)	船内での飲食販売	55
	船から見える名古屋港のモノづくり産業施設	76
	船から見える趣のある橋や沿岸の歴史資産	76
	船から見える開放感のある眺望	67

エ ルート図



## 9 地域まちづくりについて

項 目		内 容	実 績
地域まちづくりサポート制度	地域まちづくりアドバイザー派遣	専門的知識及び経験を活かした助言をもらうためアドバイザーを派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鴻の巣1町内会</li> <li>・桜山商店街振興組合</li> <li>・名古屋駅太閤通口まちづくり協議会 他4団体</li> </ul>
	地域まちづくり活動助成	地域まちづくり活動に要する経費の一部を助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒子の里協議会</li> <li>・那古野下町衆</li> <li>・名駅南地区まちづくり研究会</li> </ul>
	地域まちづくりコンサルタント活用助成	地域のまちづくり構想策定等を行うために、コンサルタントへ委託する費用の一部を助成	—
重点地域支援事業	まちづくり団体立ち上がり支援業務委託	重点地域内におけるまちづくり団体の設立を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳重地区</li> <li>・御劔地区</li> </ul>
	まちづくり構想作成支援業務委託	重点地域内におけるまちづくり構想の作成を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒子地区</li> <li>・四間道那古野地区</li> <li>・御劔地区</li> </ul>

(注) 「重点地域」とは、都市計画マスタープランに位置づけられた重点的にまちづくりを推進すべき地域のことをいう。(26地域)

## 10 ささしまライブ24地区について

### (1) 進捗状況等

#### ア ささしまライブ24土地区画整理事業

施行面積	22.1 ha
施行期間	平成11年度～平成28年度
全体事業費	35,900,000 千円
進捗率	59.6 %

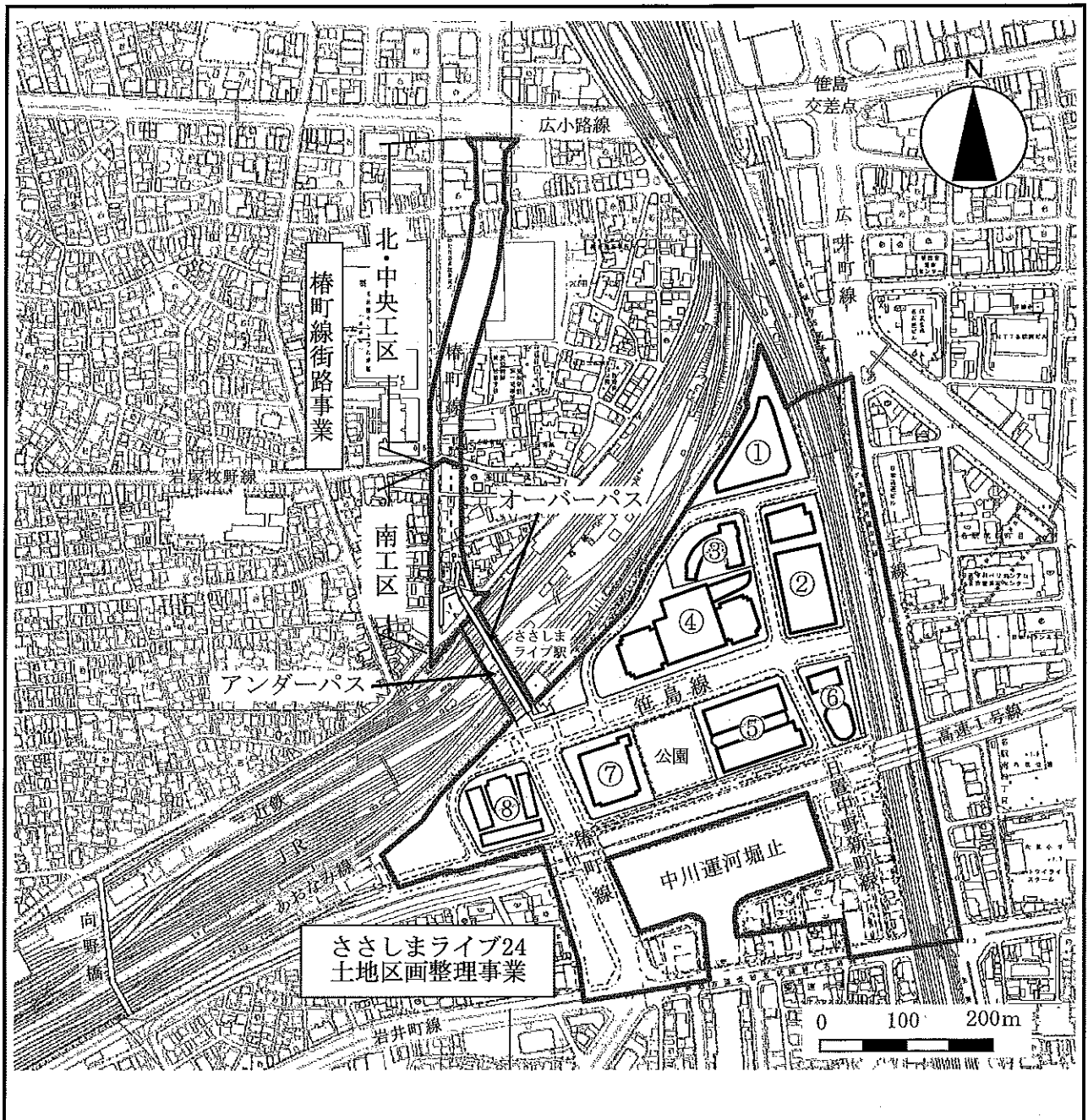
#### イ 椿町線街路事業

延長	南工区	186 m
	北・中央工区	369 m
施行期間	南工区	平成12年度～平成28年度
	北・中央工区	平成20年度～平成28年度
全体事業費	8,347,000 千円	
進捗率	72.0 %	

### (2) 開発動向

図面番号	土地所有者	面積	開業時期	施設名称 (主な用途)
①	日本郵便株式会社	約1.0ha	平成27年度(予定)	(仮称)ベストブライダルささしま (結婚式場、ホテル、商業)
②	名古屋市	約1.0ha	平成17年3月	マーケットスクエアささしま、 Zepp Nagoya (映画館、アミューズメント、ライブホール等)
③	独立行政法人 国際協力機構	約0.6ha	平成21年6月	JICA中部国際センター (国際交流・研修施設)
④	ささしまライブ24 特定目的会社	約1.7ha	平成29年度(予定)	グローバルゲート (事務所、商業、ホテル、 コンベンション等)
⑤	名古屋市	約1.0ha	平成24年4月	愛知大学名古屋キャンパス
⑥		約0.5ha	平成29年度(予定)	
⑦	中京テレビ放送 株式会社	約0.7ha	平成28年度(予定)	中京テレビ放送社屋
⑧	大和ハウス工業 株式会社	約0.8ha	平成26年度(予定)	ロイヤルパークスERささしま (賃貸マンション等)

(3) 位置図



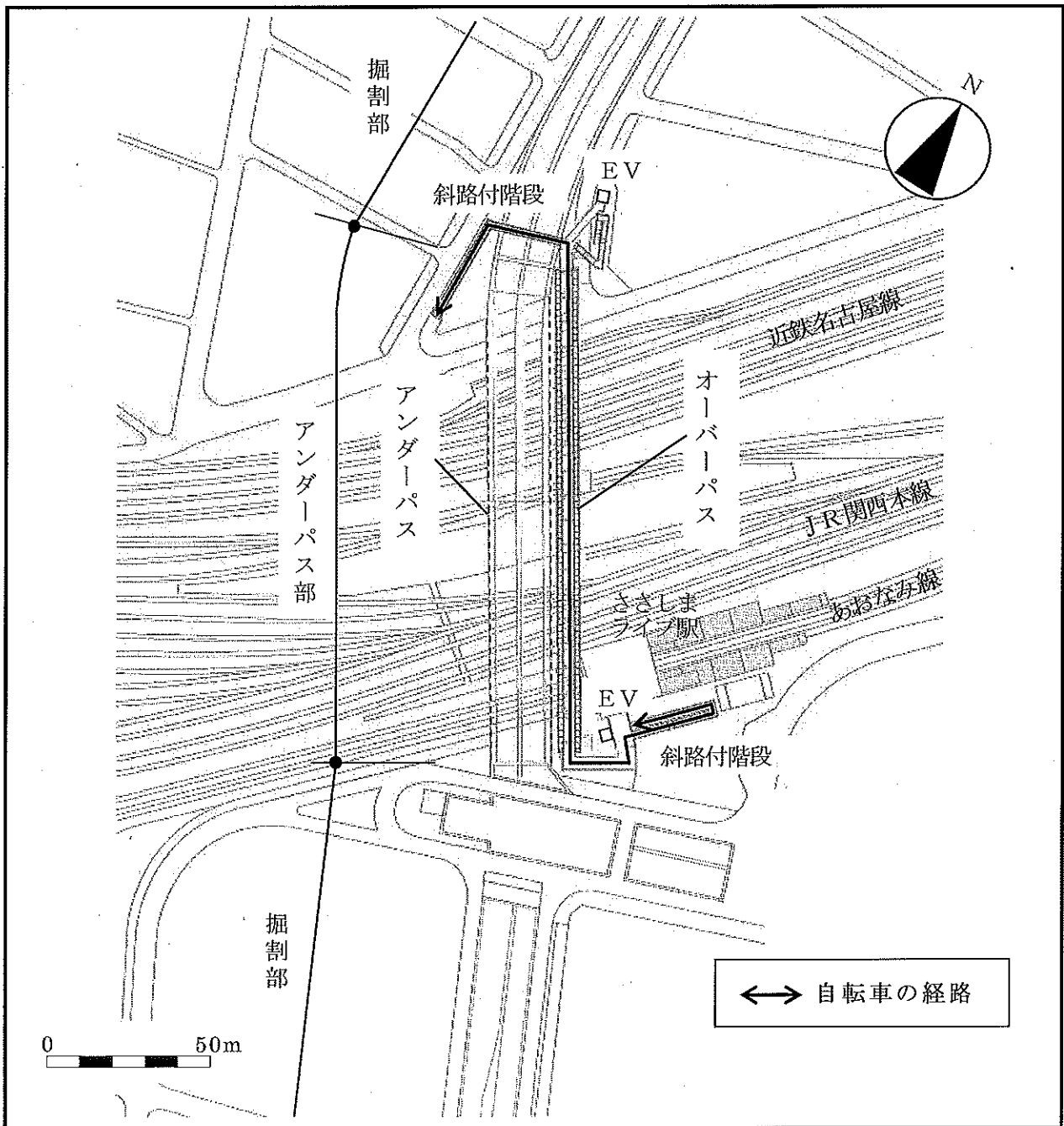


# 11 椿町線の自転車経路について

## (1) 自転車通行の考え方

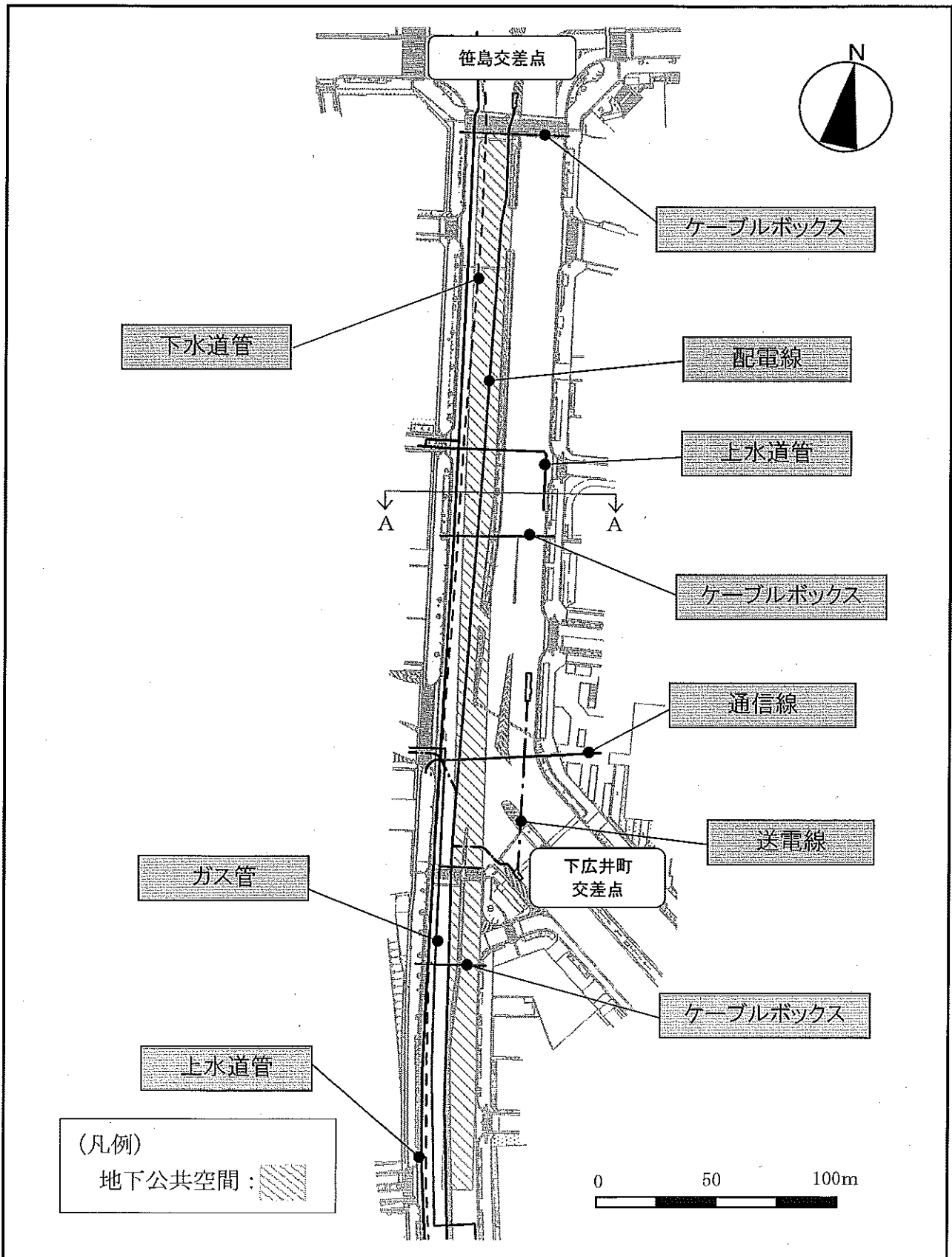
道路の形状（アンダーパス部・掘割部の延長、勾配、幅員等）を考慮し、交通安全上の観点から、自転車・歩行者については、アンダーパスではなく、オーバーパスを利用する。

## (2) 平面図



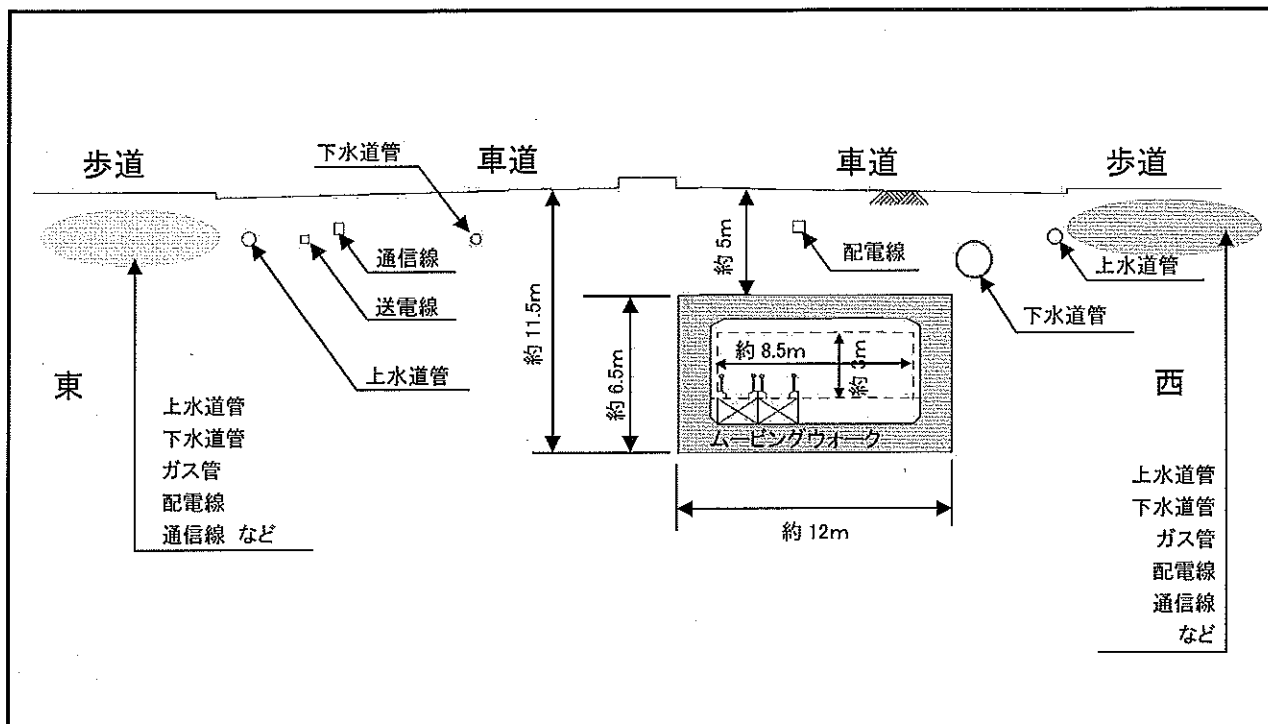
## 12 名古屋駅周辺地下公共空間整備について

### (1) 平面図



(注) 地下公共空間の整備に影響のある主な埋設物を表示

(2) 断面図 (A-A間)



(注) 上記で示した範囲よりも深い位置に電力洞道及び雨水貯留管が敷設されている。

(3) 平成25年度決算額の内訳及び内容

費 目	金 額	内 容
都市計画総務費	48,943,650 円	地下公共空間の詳細設計
都市整備事業費	9,933,000	出入口設置検討業務

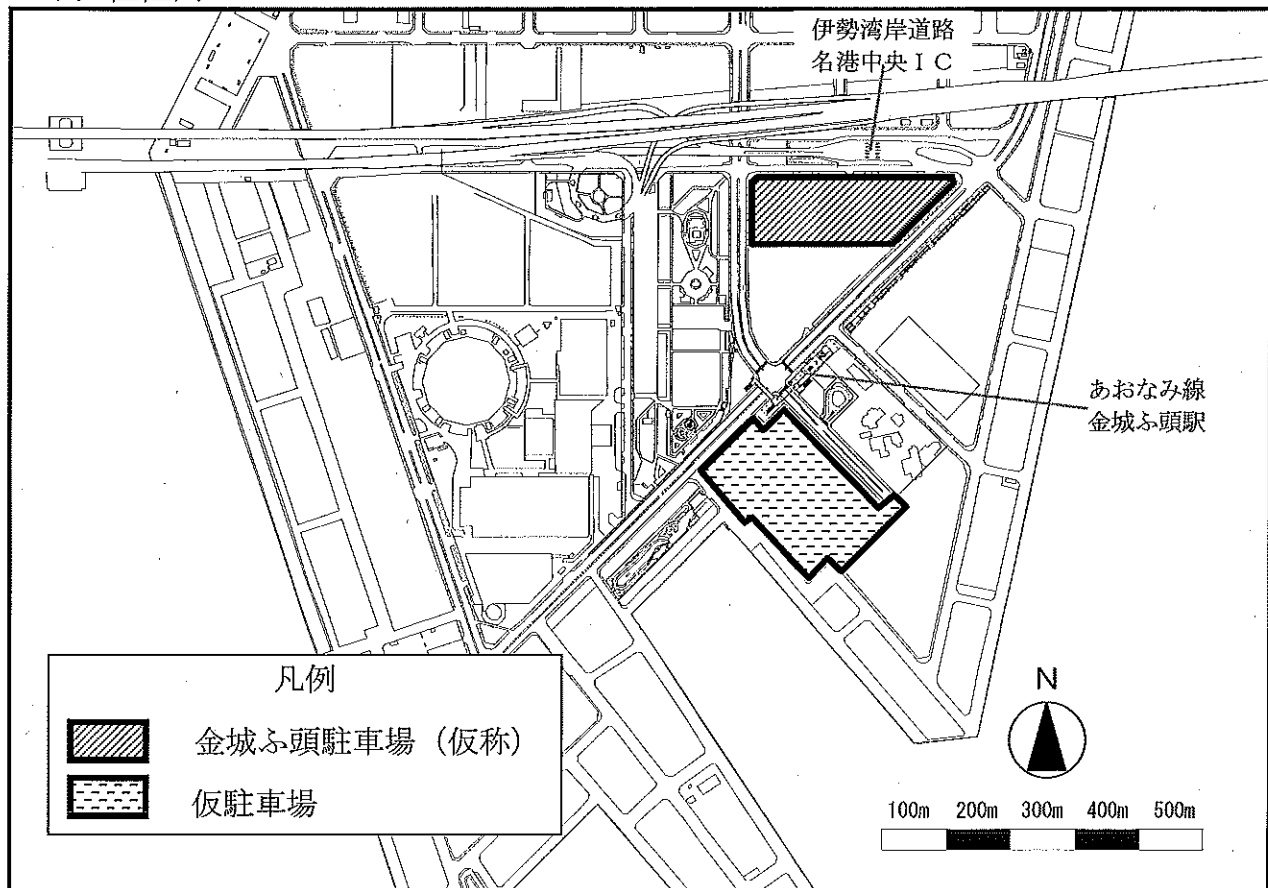
# 13 金城ふ頭開発の推進について

## (1) 事業費の内訳

区 分	金 額
金城ふ頭駐車場（仮称） 整備事業実施方針の策定	21,525,295
仮駐車場用地の借上げ	15,883,470
交通実態調査、物件調査等	4,954,950
合 計	42,363,715

円

## (2) 位置図



# 14 守山スマートインターチェンジの整備について

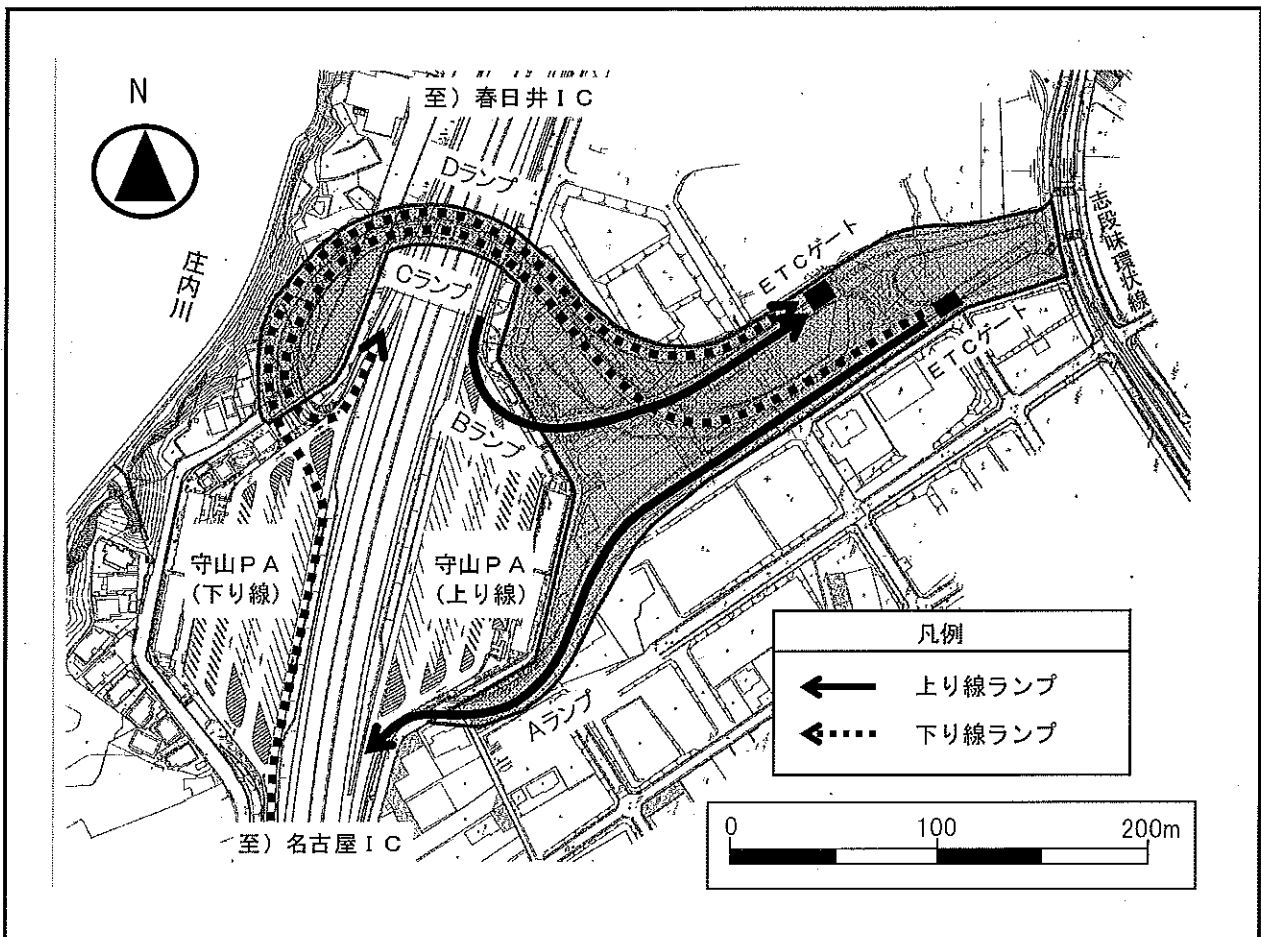
## (1) 進捗状況

全体事業費	約54億円
うち名古屋市負担分	約22億円
進捗率	約19%

備考 進捗率は、平成26年3月31日現在

(注) 進捗率は、名古屋市負担分に対するもの

## (2) 計画図



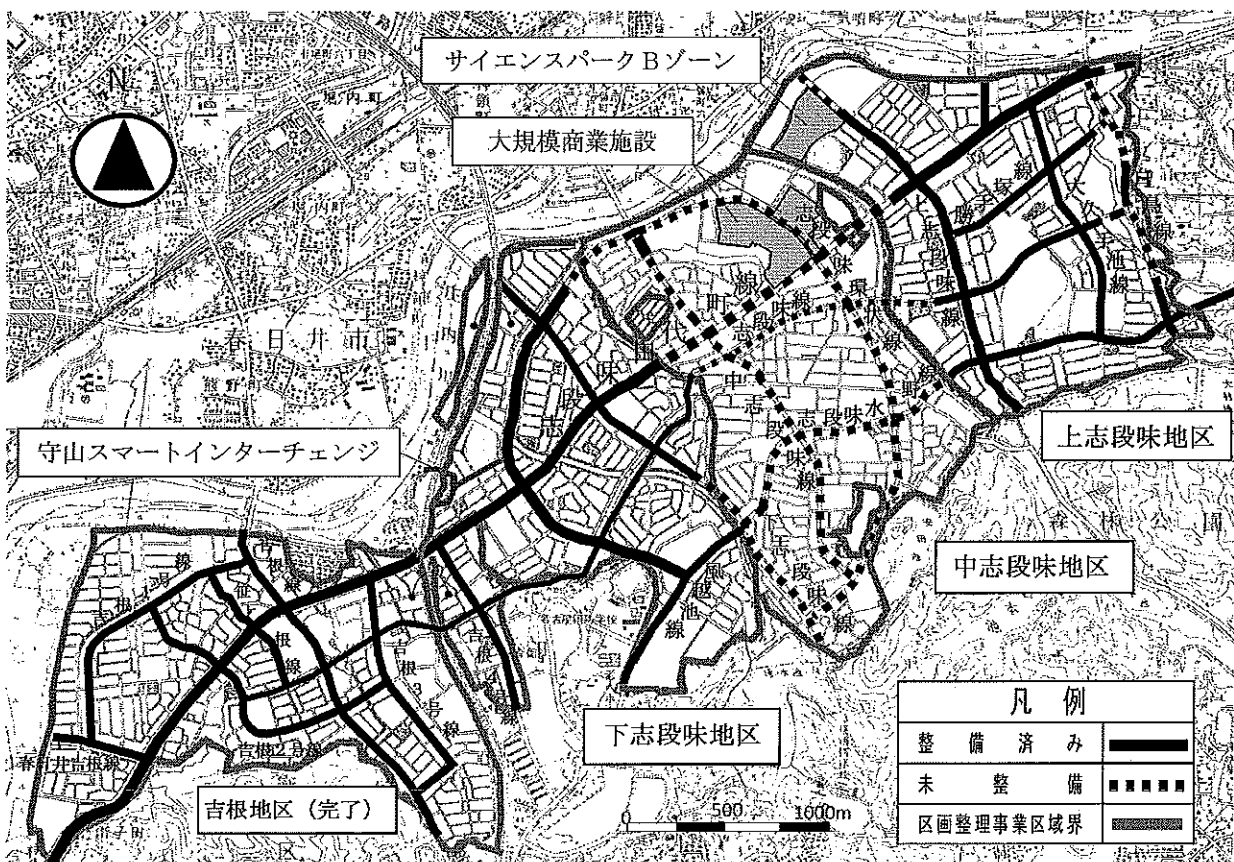
(3) 主な経過

年 度	事 項
平成 2 2 年度	・都市計画決定
平成 2 3 年度	・線形及び構造等の変更検討
平成 2 4 年度	・線形及び構造等を変更 ・供用開始時期を平成 2 6 年 9 月末から平成 3 0 年 3 月末へ変更 ・一部事業認可 ・用地取得
平成 2 5 年度	・都市計画変更 ・事業認可 ・用地取得、建物移転

# 15 志段味地区特定土地区画整理事業について

地区名	下志段味地区	上志段味地区	中志段味地区
組合設立年月日	平成4年9月8日	平成5年9月9日	平成7年12月28日
事業計画の完了予定年度	平成30年度	平成29年度	平成29年度
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保留地処分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保留地処分</li> <li>・サイエンスパークBゾーンの活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模商業施設開業に向けた都市計画道路等のインフラ整備</li> <li>・南部地区の事業推進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志段味田代町線始め都市計画道路の整備</li> <li>・地区境のインフラ整備</li> </ul>		

整備状況図

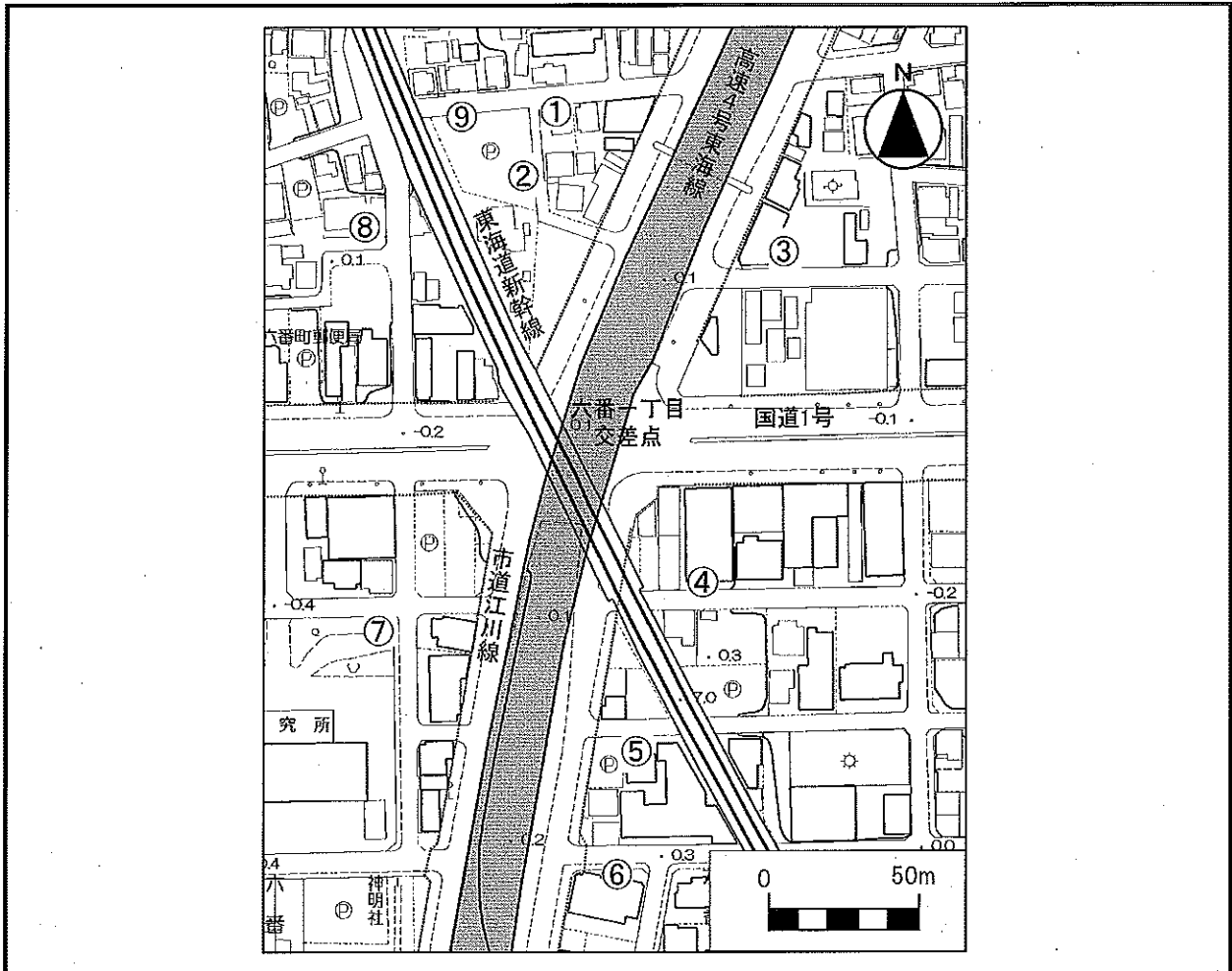


備考 整備状況図は、平成26年3月31日現在

## 16 名古屋高速道路について

### (1) 六番町新幹線跨線部の新幹線騒音測定

#### ア 測定場所



#### イ 測定結果

測定場所	工事前 (平成22年4月)	工事後 (平成25年10月)
①	65 dB	66 dB
②	67	68
③	67	67
④	70	73
⑤	70	72
⑥	65	67
⑦	66	68
⑧	66	67
⑨	68	67

備考 数値は、20本の列車の最大騒音レベル ( $L_{A, Smax}$ ) のうち、上位半数の値のエネルギー平均値である。



(2) モニタリングポストの測定結果

ア 二酸化窒素

測定場所	年 度	年 平 均 値	日平均値の年間98%値
堀 田	24	0.019 ppm	0.037 ppm
	25	0.022	0.036
大 井	24	0.017	0.038
	25	0.016	0.036
清 水	24	0.023	0.040
	25	0.023	0.041
日 岡	24	0.017	0.037
	25	0.016	0.036
新 沼	24	0.029	0.047
	25	0.028	0.044
上名古屋	24	0.020	0.039
	25	0.020	0.040
大 宝	25	0.024	0.043

(注) 大宝は平成25年11月23日から測定を開始した。

イ 浮遊粒子状物質

測定場所	年 度	年 平 均 値	日 平 均 値 の 2 % 除 外 値	日平均値が0.10 mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2 日以上連続したことの 有無
堀 田	24	0.021 <sup>mg/m<sup>3</sup></sup>	0.054 <sup>mg/m<sup>3</sup></sup>	無
	25	0.022	0.050	無
大 井	24	0.020	0.053	無
	25	0.021	0.052	無
清 水	24	0.021	0.049	無
	25	0.022	0.051	無
日 岡	24	0.022	0.060	無
	25	0.024	0.059	無
新 沼	24	0.022	0.058	無
	25	0.023	0.051	無
上名古屋	24	0.022	0.053	無
	25	0.021	0.050	無
大 宝	25	0.018	0.048	無

(注) 大宝は平成25年11月23日から測定を開始した。

ウ 騒音

(ア) 等価騒音レベル (Leq)

測定場所	年 度	昼間 (6時～22時)	夜間 (22時～6時)
堀 田	24	71	68
	25	71	68
大 井	24	69	64
	25	68	63
清 水	24	70	67
	25	70	67
日 岡	24	61	55
	25	61	55
新 沼	24	74	71
	25	74	72
上名古屋	24	67	64
	25	67	64
大 宝	25	65	61

備考 数値は、平日の各時間帯の等価騒音レベル (Leq) の年平均値である。

(注) 大宝は平成25年11月23日から測定を開始した。

(イ) 中央値 ( $L_{50}$ )

測定場所	年 度	朝 (6時~8時)	昼間 (8時~19時)	夕 (19時~22時)	夜間 (22時~6時)
		dB	dB	dB	dB
堀 田	24	65	67	65	59 (63)
	25	65	67	65	59 (63)
大 井	24	64	66	64	57 (62)
	25	63	66	64	57 (62)
清 水	24	67	68	66	61 (64)
	25	67	68	66	61 (64)
日 岡	24	52	54	52	44 (49)
	25	52	54	52	44 (49)
新 沼	24	72	72	71	67 (70)
	25	73	73	72	67 (71)
上名古屋	24	64	65	63	59 (62)
	25	65	65	63	59 (62)
大 宝	25	57	60	56	51 (54)

備考 数値は、全日の各時間帯の中央値 ( $L_{50}$ ) の年平均値である。

なお、( ) 内の数値は、22時台の年平均値である。

(注) 大宝は平成25年11月23日から測定を開始した。

(参考) モニタリングポスト位置図



堀田モニタリングポスト



大井モニタリングポスト



清水モニタリングポスト

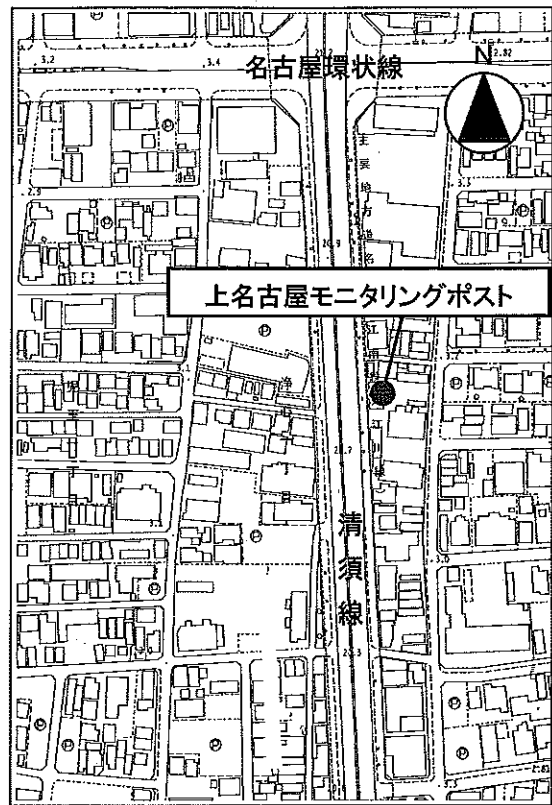


日岡モニタリングポスト

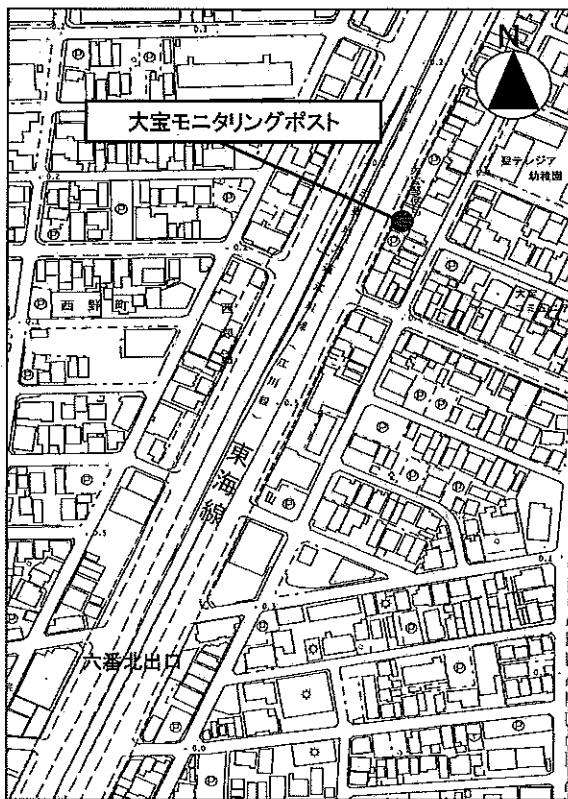
(参考) モニタリングポスト位置図



新沼モニタリングポスト



上名古屋モニタリングポスト



大塚モニタリングポスト

(3) コンクリート片落下事故対策

発生日	平成22年5月19日	平成24年5月13日	平成26年2月10日																																																		
場 所	市道江川線 南北橋付近 (高速都心環状線)	国道23号 丹後通交差点付近 (高速3号大高線)	国道41号 黒川交差点付近 (高速1号楠線)																																																		
落下物	床版打ち継ぎ目部のコンクリート片 4個 (最大22cm×15cm×4cm)	上下線の高欄隙間部のコンクリート片 2個 (最大1.5cm×1cm×0.5cm)	高欄端部のコンクリート片 2個 (最大10cm×6cm×3cm)																																																		
対 策 内 容	橋梁点検車により残りの破片を処理し、メッシュネットを設置																																																				
	同種の構造部の緊急点検を実施し、適宜、応急対策(メッシュネットの設置)を実施		同種の構造部や老朽化路線の緊急点検を実施し、適宜、応急・予防対策(メッシュネットの設置)を実施																																																		
対 策 箇 所	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: right;"></th> <th style="text-align: center;">箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速1号楠線</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td>高速2号東山線</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>高速3号大高線</td> <td style="text-align: right;">98</td> </tr> <tr> <td>高速5号万場線</td> <td style="text-align: right;">14</td> </tr> <tr> <td>高速都心環状線</td> <td style="text-align: right;">43</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">164</td> </tr> </tbody> </table>		箇所	高速1号楠線	3	高速2号東山線	6	高速3号大高線	98	高速5号万場線	14	高速都心環状線	43	合 計	164	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: right;"></th> <th style="text-align: center;">箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速1号楠線</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td>高速2号東山線</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>高速3号大高線</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>高速4号東海線</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>高速5号万場線</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> <tr> <td>高速6号清須線</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>高速都心環状線</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td>高速11号小牧線</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>高速16号一宮線</td> <td style="text-align: right;">7</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">53</td> </tr> </tbody> </table>		箇所	高速1号楠線	3	高速2号東山線	6	高速3号大高線	10	高速4号東海線	6	高速5号万場線	5	高速6号清須線	2	高速都心環状線	4	高速11号小牧線	10	高速16号一宮線	7	合 計	53	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: right;"></th> <th style="text-align: center;">箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速1号楠線</td> <td style="text-align: right;">52</td> </tr> <tr> <td>高速2号東山線</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>高速3号大高線</td> <td style="text-align: right;">94</td> </tr> <tr> <td>高速5号万場線</td> <td style="text-align: right;">28</td> </tr> <tr> <td>高速都心環状線</td> <td style="text-align: right;">26</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">206</td> </tr> </tbody> </table>		箇所	高速1号楠線	52	高速2号東山線	6	高速3号大高線	94	高速5号万場線	28	高速都心環状線	26	合 計	206
	箇所																																																				
高速1号楠線	3																																																				
高速2号東山線	6																																																				
高速3号大高線	98																																																				
高速5号万場線	14																																																				
高速都心環状線	43																																																				
合 計	164																																																				
	箇所																																																				
高速1号楠線	3																																																				
高速2号東山線	6																																																				
高速3号大高線	10																																																				
高速4号東海線	6																																																				
高速5号万場線	5																																																				
高速6号清須線	2																																																				
高速都心環状線	4																																																				
高速11号小牧線	10																																																				
高速16号一宮線	7																																																				
合 計	53																																																				
	箇所																																																				
高速1号楠線	52																																																				
高速2号東山線	6																																																				
高速3号大高線	94																																																				
高速5号万場線	28																																																				
高速都心環状線	26																																																				
合 計	206																																																				

## 17 市営路外駐車場について

### (1) 管理状況

項 目	久 屋	大 須	古沢公園
指定管理者	公益財団法人名古屋 まちづくり公社	名鉄協商株式会社	公益財団法人名古屋 まちづくり公社
収容台数	509台	202台	249台
利 用 率	24.4%	8.3%	7.2%

$$(注) \quad 利用率 = \frac{\text{収入金額}}{\text{収容台数} \times 1 \text{時間当たりの駐車料金} \times 24 \text{時間} \times \text{営業日数}} \times 100$$

### (2) 収支状況

項 目	久 屋	大 須	古沢公園
歳 入	円 610,210,480	円 64,536,340	円 62,466,300
歳 出	111,410,266	61,435,748	48,187,461
指 定 管 理 料	96,478,000	47,000,000	40,856,000
修 繕 費	14,932,266	4,462,500	7,331,461
あり方検討経費	—	1,611,500	—
償 還 金	—	8,361,748	—
収 支 差	498,800,214	3,100,592	14,278,839

(注) 歳入には目的外使用料等を含む。



## 18 若宮大通駐車場について

### (1) 管理状況

項目	内容
経営主体	若宮大通駐車場株式会社
収容台数	400台
利用率	10.4%

### 収入金額

(注) 利用率 =  $\frac{\text{収入金額}}{\text{収容台数} \times 1 \text{時間当たりの駐車料金} \times 24 \text{時間} \times \text{営業日数}} \times 100$

### (2) 経営状況

項目	金額
営業収益	226,320,897
営業費用 (内減価償却費)	205,443,229 (82,907,083)
営業損益 (減価償却前営業損益)	20,877,668 (103,784,751)
営業外損益	△13,143,903
経常損益	7,733,765
法人税等	△3,941,100
当期損益	3,792,665

備考 事業年度は平成25年2月1日から平成26年1月31日まで

## 19 横浜市及び神戸市の公営住宅の指定管理について

### (1) 管理戸数、指定管理者及び業務委託の内容

都市名	管理戸数	指定管理者	業務委託の内容
横浜市	31,451戸	住宅供給公社 民間事業者5社	入居者管理、家賃収納、一般修繕、設備保守
神戸市	49,227戸	民間事業者5社	入居者管理、家賃収納、空家修繕、一般修繕、設備保守

備考 平成26年3月31日現在

### (2) 指定管理者制度を導入したことによる利点及び欠点

区分	聞き取り内容
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納率の向上</li> <li>・経費削減</li> <li>・事業所の営業時間延長</li> </ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者間において業務水準の不均衡が発生</li> </ul>

## 20 市営住宅及び定住促進住宅使用料の収納率について

都市名	現年度	過年度	現過年度
	%	%	%
名古屋市	99.38	24.56	97.33
札幌市	99.06	30.54	97.26
仙台市	98.77	7.69	87.69
さいたま市	99.21	9.95	90.78
千葉市	98.16	7.05	80.22
川崎市	98.91	12.01	84.31
横浜市	99.58	11.63	94.88
相模原市	98.56	15.87	90.58
新潟市	97.65	32.10	93.18
静岡市	95.15	12.03	78.09
浜松市	99.23	21.79	90.04
京都市	98.47	17.50	89.02
大阪市	99.57	11.04	95.90
堺市	97.22	10.84	75.45
神戸市	99.40	18.52	97.49
岡山市	95.77	4.49	61.22
広島市	99.23	12.71	91.44
北九州市	98.05	37.41	95.48
福岡市	99.34	31.79	97.85
熊本市	96.99	22.26	86.06

## 21 高齢者共同居住事業について

### (1) 応募資格等

項目	内容
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住又は在勤で、自活できる60歳以上の単身者</li> <li>・所得月額が104,000円以下で、現に住宅に困窮していること</li> <li>・暴力団員でないこと</li> </ul>
NPO法人による見守りサービス内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週3回以上の安否確認</li> <li>・日常生活相談及び交流状況確認</li> <li>・共同居住円滑化のための入居者ルール作り支援</li> <li>・介護保険サービス等の相談</li> </ul>
主な入居者ルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台所の利用方法</li> <li>・共同スペースの清掃当番及び備品の使用方法</li> <li>・夜間におけるテレビの音への配慮</li> <li>・喫煙マナー</li> <li>・自治会活動への参加方法</li> </ul>

### (2) 課題と対策

課題	対策
事業内容についての認知度の低さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ、広報なごやによる周知</li> <li>・一般募集パンフレットへの広告掲載</li> <li>・高齢者の集まりでの直接広報等</li> </ul>
見知らぬ者同士が共同生活することに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の下見の実施</li> <li>・NPO法人による入居前面談と生活相談の実施</li> <li>・グループによる入居申込みの広報</li> </ul>

## 22 シルバー住宅について

### (1) 制度の概要

入居対象者	<p>月額所得214,000円以下で自活ができる又は常時介護を受けることができる世帯又は単身者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯向け(2DK) 65歳以上の夫婦世帯(配偶者は60歳以上) 65歳以上の親族からなる2人世帯(同居者は65歳以上)</li> <li>・単身者向け(1DK) 65歳以上の単身者</li> </ul>
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活に配慮した設備、仕様 バリアフリー等</li> <li>・近接の高齢者福祉施設への緊急通報システム設置 在宅管理、非常呼出、火災・ガス漏れ監視等 (システム稼動のためNTT電話加入契約必要)</li> <li>・生活援助員LSAの派遣 (家賃のほかに別途費用負担あり。収入に応じ0円～4,900円)</li> </ul>

### (2) シルバー住宅の一覧

区	住 宅 名	建設戸数	入居戸数
千 種	希望ヶ丘シルバー住宅	21	20
	霞ヶ丘シルバー住宅	23	19
	はざまシルバー住宅	23	19
西	中小田井シルバー住宅	24	21
中 川	小城シルバー住宅	30	29
	小城南シルバー住宅	30	29
港	東稲永シルバー住宅	23	20
	みなと東シルバー住宅	19	18
	神宮寺シルバー住宅	14	13
	みなと西シルバー住宅	24	19
	みなと南シルバー住宅	42	40
南	白水シルバー住宅	29	27
合 計		302	274

備考 平成26年3月31日現在

### 23 市営住宅の収入区分別の入居世帯数の推移について

収入区分 (月額)	平成24年度	平成25年度
円	世帯	世帯
0～104,000	42,632	41,130
104,001～123,000	2,227	2,216
123,001～139,000	1,625	1,706
139,001～158,000	1,701	1,821
158,001～186,000	1,988	2,005
186,001～214,000	1,499	1,600
214,001～259,000	1,729	1,849
259,001～	3,335	3,684
合 計	56,736	56,011

## 24 市営住宅における応募倍率の推移について

### (1) 一般募集

区 分	平成24年度	平成25年度
応募倍率	18.4 倍	13.8 倍
うち単身者倍率	41.3	29.3

### (2) 福祉向募集

区 分	平成24年度	平成25年度
応募倍率	15.4 倍	13.1 倍
うち単身者倍率	31.7	27.7

## 25 市営住宅の高齢世帯率上位団地について

順位	区	団地	高齢世帯率
			%
1	港	宝来荘	80.5
2	千種	元古井荘	78.4
3	瑞穂	田辺荘	77.8
4	南	さくら荘	76.5
5	西	菊元荘	74.7
6	中村	中村荘	74.1
7	港	港陽荘	73.3
8	熱田	旗屋荘	73.1
9	昭和	菊園荘	71.7
10	東	筒井荘	71.4
11	瑞穂	瑞穂荘	70.4
12	熱田	神戸荘	67.8
13	千種	南希望荘	67.0
14	中村	笈瀬荘	66.7
15	昭和	雪見荘	66.1
16	北	黒川荘	65.6
17	中村	稲西荘	65.6
18	千種	汁谷荘	65.1
19	港	真砂荘	64.7
20	千種	新汁谷荘	64.2

備考1 平成26年3月31日現在

2 建替等事業対象住宅、シルバー住宅を除く。

(注) 高齢世帯とは、高齢夫婦世帯、高齢単身世帯、その他高齢者のみ世帯をいう。



## 26 市営住宅における孤立死の推移について

区	平成24年度	平成25年度
	人	人
千種	3	6
東	3	3
北	5	7
西	1	1
中村	4	1
中	2	0
昭和	1	2
瑞穂	4	4
熱田	5	4
中川	3	9
港	12	11
南	7	10
守山	2	3
緑	1	3
名東	1	1
天白	3	9
合計	57	74

## 27 市営住宅における移動販売の届出実績について

区	団地	販売品目
中川	助光荘	青果、乾物、加工品等
港	みなと荘	青果、乾物、加工品等
南	氷室荘	青果、乾物、加工品等
守山	瀬古荘	青果、乾物、魚、肉等

## 28 エレベーターが設置できない既設市営中層住宅について

住宅名	区	棟数	建設年度 (昭和)	設置できない理由	入居者数	うち
						65歳以上
		棟	年度		人	人
西田代荘	千種	2	43、45	日影規制に抵触	143	77
		1	45	設置場所なし	35	22
城北荘	北	1	41	設置場所なし	12	9
黒川荘	北	1	40	設置場所なし	40	25
大杉荘	北	1	43	設置場所なし	48	29
東志賀荘	北	1	46	日影規制に抵触	30	17
那古野荘	西	1	62	設置場所なし	66	12
笈瀬荘	中村	1	44	設置場所なし	29	19
旗屋荘	熱田	1	42	設置場所なし	33	26
神戸荘	熱田	1	45	日影規制に抵触	78	42
戸田荘	中川	6	44、45	構造耐力規定に抵触	378	115
		4	45	建物形態上不可能	116	45
港栄荘	港	1	41	設置場所なし	10	7
宝神荘	港	2	49	日影規制に抵触	96	45
緑ヶ丘荘	守山	2	41	設置場所なし	46	26
		5	41	建物形態上不可能	77	45
		3	47	日影規制に抵触	75	41
本地荘	守山	2	47	日影規制に抵触	213	62
		3	47	設置場所なし	264	68
猪子石荘	名東	2	43	建物形態上不可能	49	33
梅森荘	名東	2	45	建物形態上不可能	68	19
おおね荘	天白	2	42	建物形態上不可能	69	26
御前場荘	天白	2	42	建物形態上不可能	52	33
合計		47	—	—	2,027	843

備考1 平成26年3月31日現在

2 昭和40年度以降建設の4・5階建て廊下型住棟及び5階建て階段室型住棟を対象とする。

## 29 高齢者向け優良賃貸住宅について

### (1) 制度の概要

目的	良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を促進することにより、高齢者の居住安定の確保を図るとともに福祉の増進に寄与すること	
事業内容	民間土地所有者等に対して、市長が住宅の整備及び管理に関する計画を認定するとともに、事業の実施に要する費用の一部を補助	
根拠法令	地域優良賃貸住宅制度要綱	
主整備基準	住宅戸数	5戸以上
	住戸専用面積	25㎡以上
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、耐火構造又は準耐火構造</li> <li>・台所・水洗便所・収納設備・洗面設備・浴室を備えたものであること</li> <li>・バリアフリー仕様</li> <li>・緊急時対応サービス及び安否確認サービスの体制整備を義務付け（希望者にサービス提供）</li> </ul>
主管理基準	管理期間	10～20年間
	入居者資格	60歳以上の高齢単身・夫婦世帯等 ただし、平成22年度以降に管理開始した住宅については、所得月額487,000円以下
	家賃	近傍同種住宅の家賃と均衡を失しないこと

### (2) 家賃、住戸専用面積等

区分	契約家賃 円	入居者負担額 円	住戸専用面積 ㎡
最大	200,000	131,700	106.17
最小	52,000	31,300	25.01
平均	72,100	45,100	40.39

備考 入居者負担額は、収入分位Ⅰ（月額所得0円から123,000円まで）の場合の負担額を掲出

## (3) 入居率

住 宅 名	管 理 戸 数	入 居 戸 数	空 家 戸 数	入 居 率
	戸	戸	戸	%
A (名東区)	36	33	3	91.7
B (中川区)	19	17	2	89.5
C (南 区)	32	26	6	81.3
D (港 区)	19	19	0	100.0
E (東 区)	43	43	0	100.0
F (緑 区)	8	7	1	87.5
G (名東区)	11	9	2	81.8
H (西 区)	43	30	13	69.8
I (港 区)	15	4	11	26.7
J (東 区)	52	52	0	100.0
K (中 区)	51	51	0	100.0
L (中川区)	15	14	1	93.3
M (緑 区)	9	8	1	88.9
N (中村区)	55	53	2	96.4
O (中村区)	45	43	2	95.6
P (守山区)	23	16	7	69.6
Q (天白区)	18	17	1	94.4
R (名東区)	22	21	1	95.5
S (東 区)	130	127	3	97.7
T (天白区)	34	33	1	97.1
U (中 区)	30	3	27	10.0
合 計	710	626	84	88.2

備考 平成26年3月31日現在

(注) 表中Iは平成26年3月に10戸を新たに開設、Uは平成26年3月に30戸を新設

### 30 民間木造住宅の無料耐震診断及び耐震改修助成について

区	対象戸数	無料耐震診断		耐震改修助成	
		平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
	戸	件	件	戸	戸
千種	7,300	43	39	14 (1)	14 (1)
東	3,190	13	11	3 (1)	4 (1)
北	10,880	152	44	22 (4)	26 (8)
西	9,780	54	54	17 (9)	13 (2)
中村	14,960	184	56	18 (6)	30 (6)
中	2,360	34	18	1 (1)	1 (1)
昭和	6,100	60	42	11 (1)	12 (1)
瑞穂	7,560	58	111	22 (5)	22 (2)
熱田	4,400	16	24	9 (1)	5 (0)
中川	14,100	58	51	16 (3)	27 (4)
港	8,610	25	41	19 (2)	7 (0)
南	12,490	157	55	14 (4)	17 (1)
守山	10,180	59	134	36 (8)	19 (5)
緑	11,620	70	222	37 (4)	26 (1)
名東	6,570	52	51	27 (6)	21 (0)
天白	5,620	65	65	29 (2)	24 (2)
合計	135,720	1,100	1,018	295 (58)	268 (35)

(注) 1 対象戸数は、昭和55年以前建築の木造住宅数(平成20年住宅・土地統計調査による。)

2 耐震改修助成における下段( )は、段階的改修助成の戸数

## 31 耐震対策啓発事業について

### (1) 実施内容

事 項	実 績	事 業 内 容
ポ ス テ ィ ン グ	31,974件	・ 診断申込書を瑞穂・熱田・守山・緑区において各戸配布
パンフレット等の作成	20,800部	・ 建築物の耐震化促進のあらまし (4,700部) ・ 住宅等の耐震化支援制度のご案内 (9,300部) ・ 木造住宅無料耐震診断申込書 (4,800部) ・ 非木造住宅耐震診断耐震改修助成 (2,000部)
ダイレクトメール	19,234件	・ 耐震診断済者を対象にした耐震化支援制度のご案内 (15,742件) ・ 耐震診断済者を対象にした耐震啓発イベント等の参加の呼びかけ (3,492件)
啓発用グッズの作製	3,000個	・ 防災イベント等において「ソーラーLEDライト」を配布
平成24年度木造住宅耐震診断受診者アンケート	898件	・ 平成24年度耐震診断受診者を対象にした耐震改修等に関するアンケート
講座・市政出前トーク	27回	・ 講座：くらしの防災セミナー (2回) ・ 市政出前トーク：1団体 (1回) ・ 出張耐震トーク：はつらっクラブ (南・天白・瑞穂区 計24回)
各種イベントの活用	10回	・ 中部ライフガードTEC2013、天白区区民まつり、「だいじょうぶ」キャンペーン、緑区防災フェスタ等に出展
説 明 会	7回	・ 区政協力委員長会議において実施 (4回) ・ 災害ボランティア連絡会において実施 (3回)
メディアの活用	8回	・ 広報なごやによる耐震化のPR等
	5回	・ 地下鉄等中吊広告
	5回	・ マスコミ (テレビ、ラジオ、新聞、広報誌) などによる耐震化のPR等

(2) 耐震対策啓発経費の内訳

項 目	金 額
平成25年度耐震アンケートポスティング委託	3,650,850 円
ダイレクトメール・アンケート等郵送料	1,755,995
平成25年度ダイレクトメール送付物作成業務委託	323,715
啓発用グッズの作製	420,000
耐震対策啓発用地下鉄・あおなみ線横枠広告ポスター 製作及び掲出業務委託	237,300
各種パンフレット・リーフレット印刷等	477,312
合 計	6,865,172